

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービスtette	公表日 2025 年 3 月 5 日
------	-----------------	--------------------

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が多い時は部屋を分けるなど工夫している。</li> <li>・子どもの人数によって他の遊びや場所の移動を促している。</li> <li>・過密にならないように遊べている。</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が部屋により偏らないよう、随時声をかけあっている。</li> <li>・職員1人に対しての子どもの数が多すぎないようにしている。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身体を動かす部屋」「座って遊ぶ部屋」「勉強(宿題)をする部屋」と部屋の使い方を分けており、子ども達も沿ってけている。</li> <li>・部屋の入口にどんな部屋イラストで表している。</li> </ul>	・クールダウンできるスペースがあれば尚良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身体を動かす部屋」「座って遊ぶ部屋」「勉強(宿題)をする部屋」と部屋の使い方を分けており、子ども達も沿ってけている。</li> <li>・支援終了後に毎日掃除を行っている。</li> </ul>	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良時等は別の部屋で過ごせるよう配慮している。</li> <li>・痙攣やパニックが怒った時は落ち着ける部屋(空間)で過ごすようにしている。</li> </ul>	・子どもが1人になりたいと思った時に面談室が宿題や来客で使用できない場合がある。廊下の机だと人の動きがあって落ち着かないと感じているかも？
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から職員同士の話し合いを多く持つようにしている。(良かった点、反省点を含め)</li> <li>・子ども達の個別支援計画の目標の振り返りを全職員で行っている。</li> </ul>	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から職員同士の話し合いを多く持つようにしている。(良かった点、反省点を含め)</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から職員同士の話し合いを多く持つようにしている。(良かった点、反省点を含め)</li> <li>・個別面談を行っている。</li> </ul>	・自身の情報共有が細かく出来ていないと反省している。気になったことの確認や伝達をもっときめ細かく素早く出来るようコミュニケーション能力を高めたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所からの見学</li> </ul>	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から職員同士の話し合いを多く持つようにしている。(良かった点、反省点を含め)</li> <li>・事業所内で救命救急講座が開かれ、参加できたのが良かった。</li> </ul>	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	2			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通理解のために各職員に個別支援計画を共有している。</li> <li>・児発管は職員から支援計画書についての意見をつづけている。</li> </ul>	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通理解のために各職員に個別支援計画を共有している。</li> </ul>	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの困りごとに合わせ、その都度ツールを作ったり、用意をしている。</li> </ul>	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングや定期的な話し合いの場を持っている。</li> <li>・外出レクリエーション先等は各々の意見を出し合っている。</li> </ul>	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの個々に合わせた活動を行っている。</li> <li>・長期休暇の際は子ども達が飽きないように新規の外出先を探している。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中に戸外活動が多く取り入れてある。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングで利用者の人数やメンバー、送迎時刻を確認し、保護者からいただく体調等の連絡事項を共有している。</li> <li>・パート職員にはミーティングノートを見てもらい、情報共有を行っている。ノートを通してその日に気を付けることや支援の方向性がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ツールをパート職員にも見てもらい、家での様子といった情報をより多く共有したらどうか。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の子ども達の様子を支援終了後に話し合っている。</li> <li>・良かった点、反省点を振り返っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パート職員の勤務時間内に報告ができるような時間や業務の配分を見直す。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録したことから見直しがなされていると感じる。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	2			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが遊びを選択できるように複数の遊具を設定したり、提示したりしている。また自身で選べるような声のかけ方を行っている。</li> <li>・子どもが遊びの選択に迷っている時になるべく「何する?」「どっちの部屋に行く?」と本人が決められる聞き方をするように心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“〇〇さんは工作が好きだから”と思い、「工作する?」や「絵を描く?」という聞き方で誘導してしまったのではないかと考えることがあるので、あくまで本人に選ばせ、その中で遊びや使い方のルールを伝えるということに気をつけたい。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から確認している。</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者がこれまでおらず、今後の課題。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や児童施設での交流がある。</li> </ul>	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見をすぐに職員間で共有し、実行に移している。</li> </ul>	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の家族を対象としたプログラムは行っていないが、個別に家庭で取り組めることや対応方法をお話している。</li> <li>・外部研修の告知チラシの設置。</li> <li>・ペアレントトレーニングの開催はないが、情報があつた際は伝えている。</li> </ul>	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	3			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	4		・保護者会や保護者の交流会を望む声と、希望されない声がある。 ・交流会等を希望されている方の意見を聞き、次年度の開催に向けて取り組む。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2			・Instagramの活用 ・HUGでの連絡体制や行事や活動のお知らせを行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	2				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1			・文字で起こしたり、イラストで掲示する等し、視覚から伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1			・避難訓練の実施	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				・避難訓練の実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9				・投薬内容や症状を保護者から連絡いただいている。 ・ミーティングノートへ記録し、全職員が把握できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2			・食物アレルギーのある子ども用におやつを別に用意している。 ・おやつ成分表示は二重チェックを行い確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9				・月に1度、施設の安全点検を行っている。気になったことはその都度対応している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9				・事業所内外の研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	3					